

# 2021年度委員会事業報告書

グループ名 組織グループ 委員会名 SDGsパートナーシップ委員会

担当副理事長 星川 弾  
委員長 伊藤 博昭  
副委員長 城所 宏全  
総括幹事 石川 大介  
拡大幹事 鈴木 雅大  
運営幹事 平野 裕三  
広報幹事 小林 悠也  
メンバー 樋口 梨紗  
アドバイザー 前原 恵介



## 【担当事業及び担当例会】

- ① SDGs学校出前授業「楽しく学ぼう SDGs」
- ② JC パートナー構築計画「豊川パートナーシップコミュニティ」

## 【実施効果及び成果】

- ① おいでん祭が中止となりその代替として、市に SDGsカードゲームを市民にSDGsを広げる取り組みを提案するため、色々な高校でカードゲームを行い、実証を行いました。アンケート結果は「SDGsカードゲームは100%、SDGsを理解できる取り組みである」となり、市も前向きに検討頂けています。
- ② JCが各々の事業を開くためにはボランティアメンバーが必要で、そのメンバーが末永く続くコミュニティを作ることをしました。意欲ある学生たちが集まっていたら、豊川稲荷ヨルモードにも参加していただくことができました。

## 【反省並びに今後の課題】

- ① SDGsを広げる手段はたくさんあります。市と一緒に活動するためには市が求めているもの、そして市が出来るだけ実行可能なものを選択するほうが実現可能性は高くなります。
- ② SNSを利用したコミュニティ構築方法は学校の理解を頂くためには時間が掛かるため他の手段も考えることも大切である。

## 【委員長所見】

多くの関係者のおかげでコロナ禍でも活動が行うことができました。これは各個人のつながり、そしてJCの今までのつながりがあったからこそです。今後、デジタルな世界がどれだけ広まっていても「つながり」「縁」を大切に、この地域を盛り上げていくことが大切だと思います。ありがとうございました。

## 【担当グループ長所見】

コロナ禍で思うように事業を企画できず何度も事業構築をおこなってくれ本当に頑張ってくれました。パートナー構築はコロナ禍で事業がない中ではできない難しい事業でした。しかし次年度以降に引継ぎをしっかりと行っていけばいずれ多くの人のつながりを期待させる事業だと思います。SDGs事業も今後につながるとてもいい事業だったと思います。今回の事業を通して学校側とうまくつながっていく大切さがわかりました。次年度以降もうまく付き合っていってほしいと思います。

